



秋のオススメ本紹介



YA担当より

“読書の秋”がやってきましたね！暑さも少しずつ和らいで、過ごしやすくなってきた

この季節、お家でゆっくり読書を楽しんでみてはいかがでしょうか？

YAコーナーでは、ここに紹介した本の他にも、たくさんのおすすめ本を取り揃えています。

あなたにぴったりの本が、きっと見つかりますよ♪

① 「いつかすべてが君の力になる」

梶 裕貴 / 著
河出書房新社
YA書架 778カ



著者は声優の方で、〇〇の役をしている人だよ、ときくと知っている人もいるかもしれません。

この本で著者は、どうしてその仕事を選んだのか、どうやってその夢に向かって進んで来たのか、声優とはどういうものか、また、どんな風に仕事に取り組んできたのかを自分の歩んできた道を振り返りながら、夢について語っています。夢をすでに持っている人も、まだ何をしたいか迷っている人も、この本を読んで、いろんな可能性や夢をのぞいてみませんか？



② 「スマイル・ムーンの夜に」

宮下 恵菜 / 著
鈴木 し乃 / 絵
ポプラ社
YA書架 913ミ



休み時間はスマホをし、みんなの輪に入ろうとしない気弱な麻帆。強気で喧嘩っ早く、全身校則違反の格好の沙羅。マイペースで勉強やテニスが得意だけど、何に対しても心から興味を抱けない翔太。三人と違い、誰とでも仲良くできるクラス委員長のような存在の、のぞみ。

両親や友達、学校の先生…など、身の回りのたくさんの人に対して葛藤や迷いを抱く四人。不器用ながらも奔走し、それらを乗り越え、新しい自分と居場所を見つけていきます。



③ 「ポースケ」

津村 記久子 / 作
中央公論新社
YA書架 ツム



ヨシカが営む食堂に立ち寄り、「しんどいなあ」「モヤモヤするなあ」ということを抱えている人々のお話です。

その人々のエピソードを読んでいくと、絶対の正解なんて無いけど、自分に合った方法や進む道は見つかる、だから大丈夫だよ、と寄り添ってくれるようです。

「ポースケ」というのはノルウェーの復活祭だそうです。ヨシカの店で開催されるポースケに集う登場人物たちの穏やかな雰囲気ホッとします。



④ 「ともだち あなたへ」

レイフ・クリスチャンソン / 文
にもんじ まさあき / 訳
堀川 理万子 / 絵
岩崎書店
YA書架 Eホ



あなたにはどんな友達がいますか？その友達はあなたにとってどんな存在ですか？この本には、「ともだち」という存在の素晴らしさが優しい言葉で綴られています。

同作者による「あなたへ」のシリーズには、日々の暮らしの中の感動や発見、「生き方」について考えるきっかけが詰まっています。ぜひ、シリーズを通して、そのメッセージに触れてみてください。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。



佐賀市立図書館